

自主=自主事業 補助=市補助事業 受託=受託事業 都社協受託=東京都社協受託事業

令和5年度 東大和市社会福祉協議会事業計画（抜粋）

I 事業方針

国においては、地域共生社会の実現に向けた取組として、包括的な支援体制の構築を目指しています。これは、地方公共団体を中心として、断らない相談支援・社会とのつながりや参加の支援・地域づくりに向けた支援を進めることにより、地域住民の複合・複雑化した生活課題に対し、包括的に対応していくものであります。

こうした中、本会では、3年目となる「第5次地域福祉活動計画」の施策を確実に推進し、組織体制の強化と安定的な運営を図りながら本計画の基本理念である「みんなで支え合い・つながり合って 安心して暮らせるまち ひがしやまと」を目指して、更に地域福祉の充実・推進を図ります。

また、本会は本年に法人化50周年を迎えます。今後も行政・関係機関及び市民の皆様との連携を強化し、地域共生社会の実現に向け、住民主体の地域福祉の推進に努めます。

II 重点目標

- 1 第5次地域福祉活動計画に基づく事業の推進
- 2 ひきこもり支援事業等の推進
- 3 経営改善への取組
- 4 法人化50周年記念事業の実施

III 事業計画

1 法人運営事業

社会や地域の状況の変化に対応し、本会が求められる役割を担っていくために、理事や評議員の社協運営への理解向上を推進し、法人運営の強化に努めます。

(1) 役員会（理事会、監事会）・評議員会等の開催 自主

・役職員の本会運営や経営への理解促進を図り、法人運営の強化及び経営の安定化を図ります。

正副会長会 3回 理事会、評議員会への提出議案協議等

理事会 4回 事業計画・予算、事業報告・決算、規程等の一部改正等

※役員改選に伴い6月定時評議員会開催後、新理事会を開催予定

評議員会 3回 事業計画・予算、事業報告・決算、規程等の一部改正等

監事会（監査）2回 決算監査、中間監査

評議員選任解任委員会 必要に応じて開催

(2) 経営改善の取組 自主

(3) 法人運営に係わる事業

① 財源確保 自主

ア 会員増強

・コロナ禍で減少した会費等の協力先の回復を進め、会費収入の向上を目指します。

地域福祉の推進と自主財源の確保を目的に、例年7月を会員増強月間とし、自治会員・管理組合員・事業所・団体等の会員加入増加に向けた活動を実施するとともに、使途や会員会費制度の周知に努めます。

また、理事、評議員等の協力を得ながら新規事業所や自治会未組織地域への協力拡大に努めます。 ○本年度目標額 2,370,000円

イ 寄附金 ○本年度目標額 1,750,000円

- ② 関係団体等との連携 **自主**
・助成金の財源、目的を明確にし、助成事業を実施します。

ア 福祉団体助成事業

イ 自治会長・管理組合理事長会議

会費、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金への協力依頼の他、自治会長会議を通して、自治会と職員の関係性の強化を図るとともに自治会と連携した地域福祉を構築できる体制づくりを目指します。

ウ 他団体への支援・備品貸出し

エ 共同作業所連絡会展示販売コーナー

- ③ 職員のスキルアップ **自主**

(4) 普及・宣伝活動促進

・PR検討委員会において、本会のPR活動の向上を目指し総合的に検討します。

- ① 社協だよりの発行 **自主**

・PR検討委員会において検討、編集を行い、より市民に親しまれる内容とします。

発行日	4月15日	6月15日	9月15日	11月1日	1月15日
-----	-------	-------	-------	-------	-------

- ② ホームページ **自主**

・本会ホームページのレイアウトや全体的な見直しを検討します。

- ③ パンフレット等を通じての宣伝強化 **自主**

- ④ イメージキャラクターたまちゃんの活用 **自主**

- ⑤ SNSの活用 **自主**

・SNS (Twitter 等) を活用し、幅広い世代へPRを行います。

(5) 福祉祭 **補助**

・福祉祭への理解を広め、より内容を充実させるため協賛企業等の増加を目指します。

期日：11月12日 (11月第2日曜日予定)

場所：市役所中庭及びその周辺 (予定)

(6) 地区担当制の推進と地域組織との関係強化 **自主**

(7) 災害時対策 **自主**

・被災者支援を重視した災害ボランティアセンター設置・運営訓練を開催し、より福祉的な視点による運営について理解を深めます。

・若い世代へのPRを強化し、夏！体験ボランティア等との連携を検討します。

○災害ボランティアセンター設置・運営訓練実施予定

期日：6月10日 (土) 場所：ハミングホール

(8) 第5次地域福祉活動計画の推進 **自主**

・第5次地域福祉活動計画について、地域住民に更に周知を図るとともに市の第6次地域福祉計画と連携し、課題解決に取り組み、地域福祉の推進を目指します。

(9) 福祉のしごと相談・面接会 **自主**

・市内の福祉施設、事業所等の福祉人材の確保に努めます。

- ・事業を通じて、本会と関係機関の連携を強化します。

(10) 協働事業開発 **自主**

- ・第5次地域福祉活動計における「関係機関との連携強化」の項目で協働事業のあり方を検討します。

(11) まちづくり推進 **自主**

- ・過去2年にわたりボランティア・市民活動センター事業で実施した市民参加によるまち歩きの実績を参考として、まちづくりに関する市民の意識向上を図ります。

(12) 社会福祉法人地域公益活動の推進 **自主**

- ・生活困窮者食料等支援事業の取組を実施します。
- ・連絡会を定期的に開催し、市内の社会福祉法人の連携を強化します。

(13) 福祉なんでも相談 **自主**

(14) 共同募金事業

① 赤い羽根共同募金事業 **自主**

- ・募金配分の対象団体の新規開拓を目指します。
 - ・コロナ禍で減少した募金額の回復を目指します。
- 10月の1か月間、共同募金運動期間として実施します。

② 歳末たすけあい募金事業 **自主**

- ・地域の事業所・団体等への募金協力依頼を積極的に行います。
- 12月の1か月間、歳末たすけあい募金運動を実施します。

(15) 貸付事業

① 応急小口資金貸付事業 **自主**

② 生活福祉資金貸付事業 **都社協受託**

③ 受験生チャレンジ支援貸付事業（低所得者・離職者対策） **受託**

④ 生活困窮者食糧等支援事業（フードバンク事業） **自主**

食料等の支援が必要な市民に対して、食品等を無償で配布する事業の取組を進めます。年に2回の配布の他、継続的なフードバンクの実施に向け、ボランティア、社会福祉法人地域公益活動連絡会等関係機関と連携を図ります。

(16) 法人化50周年記念事業 **自主**

本会は、昭和48年4月に任意団体から社会福祉法人へと法人化し、本年に50周年を迎えます。この節目の年を迎えるにあたり、これまで地域福祉の向上にご尽力いただきました市民、関係機関等に対し感謝の意を表するとともに、より多くの市民に社会福祉協議会についての理解を深めていただくよう、50周年記念事業を実施します。

2 地域福祉事業

(1) ファミリーサポート事業

- ・協力会員の資質向上を目的とし、研修内容のレベルアップや充実を図ります。
- ・協力会員の増員に向け、不足地域の調査と協力会員募集用チラシを作成します。
- ・多子世帯への支援において、新たな料金設定を検討します。
- ・協力会員養成講座のカリキュラムの充実と新マニュアルの内容の浸透を図ります。

・子育て関係機関連絡会を開催し、ネットワークの強化を図ります。

- ① ファミリー・サポート・センター事業 **補助**
ア さわやかサービス
イ 「大きな和」事業
- ② ひとり親家庭ホームヘルパー派遣事業 **受託**
- ③ 育児・家事訪問支援事業 **受託**

(2) ボランティア・市民活動センター事業

・SNS（Twitter等）を活用し、事業等のPRを図ります。
・福祉ボランティア講座は、運営委員会が主体となって実施できる内容とします。
・対面とオンラインの併用でコロナ禍でもできるイベントを企画します。
・福祉教育のマニュアル作成及び申し込み書式や学校への周知ツールを作成します。

- ① 運営委員会 **補助**
- ② 相談・コーディネート等 **補助**
- ③ 福祉教育 **補助**
- ④ 講座関係 **補助**
- ⑤ 介護支援いきいき活動 **受託**
- ⑥ 広報・啓発活動 **補助**
- ⑦ NPO支援 **補助**

(3) ふれあいのまちづくり事業

・見守り・声かけ活動について、頒布品を活用したPRを行い、利用者、協力員の増員を図ります。
・見守り・声かけ活動利用者へおたよりを発行し関係強化を進めます。
・こども食堂連絡会を経てマップや一覧を作成します。

- ① 見守り・声かけ活動 **補助**

安否確認とふれあいを目的とした住民主体の活動として実施します。今後は訪問、対面による活動を基本としながら、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて柔軟に対応していきます。

また、高齢者ほっと支援センター・高齢者見守りぼっくすや市等と随時連携し、自治会、シニアクラブ、他事業所等と適時連携を図ります。

- ② ふれあいなごやかサロン **補助**

サロンの運営や立上げ等に関する相談、情報提供、個別ニーズに対する対応を行います。

- ③ 車いすステーション **自主**
- ④ こども食堂 **自主**

(4) ひきこもり支援事業 **受託**

・ひきこもり家族会が企画する定例会や交流会への支援を引続き行います。
・行政機関へ声を届けるサポートや将来的な当事者支援の体制について検討します。
・当事者カフェの試行的実施を検討します。また、相談支援体制の充実に向けた検討を進めます。

(5) 生活支援・介護予防推進事業

・第1層協議体と連携し、支え合いの仕組づくりを推進します。
・地域の担い手育成を目的に講座を実施します。
・元気ゆうゆうポイント事業参加者の増加を目的とした取組を行います。

・元気ゆうゆうポイント事業において、各活動会場にて景品交換を実施します。

- ① 生活支援コーディネーター事業 **受託**
- ② 東大和元気ゆうゆうポイント事業 **受託**

(6) 手話普及事業

- ① 手話講習会 **受託**
 - ・オンライン講座のマニュアル化を検討します。
 - ・手話通訳者養成講座の進級試験の実施にあたり、養成講座を充実させます。
初級・中級・上級 5月中旬～3月上旬 昼・夜 各20名
- ② 手話通訳者養成講座 **受託**
 - 養成講座 5月～3月 昼 全20回

(7) 音訳事業 **自主**

・仕様書の取り交わしを通じ市、グループ間の連絡の円滑化を一層推進します。

3 権利擁護事業（あんしん東大和）

(1) 福祉サービス総合支援事業 **都社協受託・受託・補助**

・手続きや金銭管理において支援が必要な方々への初期相談（生活課題等）の増加に対応するため、継続して担当職員の増員について市と協議を行います。
・福祉サービス利用援助（地域福祉権利擁護事業）に関して相談内容の多様化に対応するため、担当職員、生活支援員のスキルアップを目指します。

- ① 福祉サービス利用援助
- ② 利用者サポート

(2) 成年後見活用あんしん生活創造事業 **受託**

・権利擁護等に関する相談対応、支援の円滑な展開を目指し、『あんしん東大和権利擁護支援検討会議』を実施します。
・成年後見制度利用促進の充実及び中核機関設置に向けて、市と調整を行います。

4 精神障害者地域生活支援センター事業

・職員間の情報共有・連携体制を維持し、さらなるスキルアップを図ります。
・関係機関との連携を強化し、地域生活支援拠点事業の円滑な実施を図ります。
・プログラムの充実を図ります。

- (1) 地域生活支援拠点事業 **受託**
- (2) 精神障害者相談支援事業 **受託**
- (3) 地域活動支援センター事業 **受託**
- (4) 特定相談支援事業 **自主**
- (5) 一般相談支援事業 **自主**

5 ホームヘルパーステーション・ケアマネジメントセンター事業

(1) 介護保険ヘルパー事業 **自主**

・登録ヘルパーの確保に向けた取組を検討し実践します。
・経営改善に向けた取組みについて協議します。

(2) 障害者総合支援ヘルパー事業 **自主**

・登録ヘルパーの確保に向けた取組を検討し実践します。
・経営改善に向けた取組みについて協議します。

(3) 居宅介護支援事業 自主

- ・ 経営安定化に向け、介護支援専門員を確保し運営の適正化を図ります。
- ・ 安定的な運営に努めます。
- ・ 介護支援専門員個々のレベルアップを図ります。

6 収益事業

(1) 自動販売機設置 自主

- ・ 既存自販機の収益金の増加を目指すための工夫を図ります。
- ・ 飲料以外の自販機設置を検討します。